

## 子ども・若者総合相談センターのボランティアを活用した相談体制の充実

## 1 趣 旨

ニート、ひきこもりなど、社会生活を営む上で様々な困難を抱える子ども・若者が、まずかけこむことができる窓口として設置している「子ども・若者総合相談センター」において、地域の様々な人材をボランティアとして活用する仕組みを構築することで、より幅広く、多様な支援を実施できる体制を確保するとともに、社会全体で困難を抱える子ども・若者の支援に取り組む機運を醸成するもの。

## 2 実施内容

## (1) ボランティア（以下、「サポーター」）の募集・登録

地域や民間団体等で子ども・若者の支援に取り組んだ経験のある方や資格を有した方のほか、子ども・若者支援に熱意・関心のある方を幅広く募集し、サポーターとして登録する。

## (2) サポーターの派遣

サポーターとして登録を行った方に、専門の講師により、支援スキルの講習を行った上で、センターへの来所が困難な場合に実施している、自宅等へ出向いて行う訪問支援や、他の支援機関へつなぐ際に同行する支援を、センターの専門職員のサポートのもとで実施する。支援の実施については、センターに新たに配置するコーディネーターが適切なケースを選定し、派遣するサポーターの調整を行う。

## 3 事業の体系

